

子どもの歯を守ろう

歯みがきに慣れさせよう！！

◆あせらず… ゆっくりと…

子どもは、じっとしているのがイヤ！！
それに…どんなことをされるのか不安です。
でも…
これは、ステップを踏むことで慣れてきます。
親がやさしく語りかけながら、心地よい時間を
過ごせば、歯みがきは、実はとっても気持ちよい
ものです。



歯みがきに慣れさせるには、ステップをふんでゆっくりとね！

ステップ

1

歯のない時期

- ① ほほや唇にさわってみましょう
- ② 温かいタオルで口のまわりをふいてみましょう
- ③ 慣れたら指で歯ぐきをさわってみましょう

さわられるのに
慣れさせましょう！



ステップ

2

下の前歯が生えたら

- ① 親や兄弟の歯みがきを見せましょう
- ② 下の前歯が生えてきましたら指でさわって
みましょう
- ③ 慣れたら歯ブラシでさわってみましょう
- ④ 食後歯ブラシを子どもに持たせましょう

※歯ブラシを口にくわえた
ままの事故やケガに注意！



ステップ

3

上の前歯が生えたら

- 仕上げみがきのスタートです
機嫌の良いときに、短時間で、
痛くないようにみがきましょう



この時期（1歳前後）の歯みがきのポイントは
むし歯のできやすい上の
前歯の歯と歯ぐきの境目を
ていねいにみがきましょう



ステップ

4

奥歯が生え始めたら（12～18ヶ月頃）

- 歯みがき習慣が身につく時期です
- ① 子どもには食後の歯みがきを
習慣づけましょう
 - ② 親は1日1回の仕上げみがきを
習慣にしましょう

奥歯の溝はむし歯の住みかに
なりやすいです



はじめは、歯みがきを嫌がるのがふつうです！！

- ◆ 全部の歯を一度にみがこうと思わず、一日1～2本の歯を順番にきれいにするつもりでみがきましょう。
- ◆ 「やわらかめ」の歯ブラシで、やさしい力でみがきましょう。
- ◆ 音楽をかけたり、歌ったり楽しい雰囲気づくりをしましょう。
- ◆ 短時間でみがきましょう。

★終わったあとは、しっかりほめてあげましょう♪



フッ化物配合歯みがき剤でむし歯を予防しよう！！

なぜ、フッ化物
はむし歯を予防
するの？



- 1 歯の質を強くし、酸に溶けにくい強い歯にします。
- 2 歯の自己修復する力を助け、なり始めのむし歯を元にもどします。
- 3 むしば菌の活動を弱らせ、酸をつくらせないようにします。

フッ化物配合歯みがき剤の使用量
(5歳までのフッ化物濃度は500ppm)

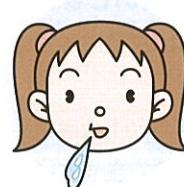
年齢	使用量	歯ブラシの目安
生え始め ～2歳	切ったツメ 程度の量	
3歳～5歳	先端から 5mm以下	

<フッ化物配合歯みがき剤の見分け方>

製品に「フッ化物配合」と書いてあるか、成分表示に「モノフルオロリン酸ナトリウム」「フッ化ナトリウム」「フッ化第一ズ」などと表示されています。

歯みがき剤は使い方が大切

- 1 歯ブラシに歯みがき剤をつけましょう（寝る前の仕上げみがきでの使用が効果的です）
- 2 歯にまんべんなく広げ、みがきましょう
- 3 吐き出し（ペッ）ができない場合は、ティッシュやガーゼで拭きとりましょう
- 4 吐き出し（ペッ）ができるようになったら、少量の水でブクブクうがいをしましょう（うがいは1回だけ）
- 5 歯みがき後、1～2時間は飲食をひかえましょう



[参考文献]・フッ化物応用研究会編：「う蝕予防のためのフッ化物配合歯磨剤応用マニュアル」社会保険研究会、東京、2006を一部改変
・福島県幼児歯科健康診査マニュアル

[資料提供]「口腔ケア Support Office nao なお工房」

問い合わせ先

福島県保健福祉部健康増進課 電話 024-521-7640

リサイクル適性④
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。